



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月15日

上場会社名 松竹 株式会社 上場取引所 東 札 福
 コード番号 9601 URL http://www.shochiku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 迫本 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 関根 康 TEL 03-5550-1699
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	23,725	7.1	2,867	21.7	2,358	31.4	1,391	21.1
26年2月期第1四半期	22,159	16.4	2,355	—	1,794	—	1,148	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 1,569百万円 (△36.3%) 26年2月期第1四半期 2,463百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	10.12	—
26年2月期第1四半期	8.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	195,917	70,529	36.0	512.66
26年2月期	203,742	69,517	34.1	505.32

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 70,477百万円 26年2月期 69,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,450	△4.0	2,270	△59.1	1,560	△66.7	750	△74.6	5.46
通期	88,140	△0.9	4,640	△46.1	3,350	△48.5	1,720	△16.2	12.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	139,378,578株	26年2月期	139,378,578株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,903,815株	26年2月期	1,899,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	137,477,022株	26年2月期1Q	137,364,861株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな景気回復に向かう一方、消費税増税後の個人消費鈍化、新興国・資源国の動向など、先行きについては依然不透明な状況が続いております。

このような状況下、当企業グループはより一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高23,725百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益2,867百万円(前年同期比21.7%増)、経常利益2,358百万円(前年同期比31.4%増)となり、特別利益85百万円、特別損失3百万円を計上し、四半期純利益は1,391百万円(前年同期比21.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(映像関連事業)

映像関連事業におきましては、「白ゆき姫殺人事件」「機動戦士ガンダムUC episode 7」「劇場版 TIGER & BUNNY - The Rising -」等が健闘いたしました。興行は、「アナと雪の女王」のヒットにより前年を上回る興行成績となり、収益に貢献いたしました。テレビ制作、映像ソフト、テレビ放映権販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,002百万円(前年同期比16.5%増)、セグメント利益は1,557百万円(同251.6%増)となりました。

(演劇事業)

演劇事業におきましては、新開場2年目を迎える歌舞伎座は「十二世市川團十郎一年祭團菊祭五月大歌舞伎」などが好成績を収めました。スーパー歌舞伎Ⅱの第一作となる「空ろ刻ム者」が新橋演舞場・大阪松竹座で連続上演し、ともに大好評を博しました。新橋演舞場ではほかに「滝沢歌舞伎2014」が、大阪松竹座では「ジャニーズWESTコンサート」などが好稼動致しました。他に明治座「五月花形歌舞伎」の製作、「四国こんびら歌舞伎大芝居」の巡業が収益に貢献致しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,610百万円(前年同期比17.1%減)、セグメント利益は771百万円(同63.1%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、不動産賃貸は、歌舞伎座タワー、築地松竹ビル、新宿松竹会館、東劇ビル、大船松竹ショッピングセンター、有楽町センタービル(マリオン)、新木場倉庫の稼働が順調に推移し、安定収入に貢献いたしました。各ビルとも効率的運営、経費削減に努めることにより、計画通りの利益を確保いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,594百万円(前年同期比44.3%増)、セグメント利益は1,047百万円(同166.7%増)となりました。

(その他)

その他におきましては、プログラム・キャラクター商品販売は、「機動戦士ガンダムUC episode 7」「劇場版 TIGER & BUNNY - The Rising -」「ホビット 竜に奪われた王国」等が好調でした。また、松竹歌舞伎屋本舗は、売上好調で、収益に貢献いたしました。貸衣裳事業、清掃事業及び舞台大道具製作事業は堅調な成績をあげております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,517百万円(前年同期比23.4%増)、セグメント利益は208百万円(同102.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,825百万円減少し、195,917百万円となりました。これは主に有価証券が増加したものの、現金及び預金の減少等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8,838百万円減少し、125,387百万円となりました。これは主に長期借入金(責任財産限定)が増加したものの、1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)及び1年内償還予定の社債(責任財産限定)の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,012百万円増加し、70,529百万円となりました。これは主に利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点においては平成26年4月14日付「平成26年2月期 決算短信」にて発表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,163,208	13,111,130
現金及び預金（責任財産限定対象）	10,126,807	7,438,542
信託預金（責任財産限定対象）	4,721,705	5,033,228
受取手形及び売掛金	6,096,496	6,482,621
有価証券	300,000	1,300,000
商品及び製品	1,536,427	1,432,158
仕掛品	1,564,342	1,797,060
原材料及び貯蔵品	77,039	85,277
その他	3,360,042	3,868,982
貸倒引当金	△17,664	△40,937
流動資産合計	47,928,403	40,508,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,516,253	19,296,421
建物及び構築物（責任財産限定対象）（純額）	21,814,242	21,595,137
信託建物（責任財産限定対象）（純額）	12,206,259	12,033,569
設備（純額）	11,948,831	11,654,125
土地	21,995,920	21,995,920
信託土地（責任財産限定対象）	18,751,834	18,751,834
その他（純額）	5,765,268	5,881,225
有形固定資産合計	111,998,611	111,208,234
無形固定資産		
のれん	1,666	952
その他	2,906,430	2,929,060
無形固定資産合計	2,908,096	2,930,012
投資その他の資産		
投資有価証券	17,953,520	18,209,060
長期前払費用（責任財産限定対象）	14,078,447	14,019,020
その他	9,076,008	9,308,476
貸倒引当金	△200,301	△265,650
投資その他の資産合計	40,907,675	41,270,906
固定資産合計	155,814,383	155,409,153
資産合計	203,742,786	195,917,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,162,420	7,216,112
短期借入金	6,090,000	5,865,000
1年内償還予定の社債	—	1,100,000
1年内償還予定の社債(責任財産限定)	10,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	10,205,766	8,629,283
1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	25,700,000	1,631,000
未払法人税等	1,497,282	1,164,923
賞与引当金	408,757	220,565
劇場閉鎖損失引当金	782,587	782,587
その他	10,868,242	10,670,945
流動負債合計	70,715,058	37,280,418
固定負債		
社債	1,100,000	—
社債(責任財産限定)	—	500,000
長期借入金	28,284,435	29,196,055
長期借入金(責任財産限定)	18,475,000	41,869,000
退職給付引当金	1,743,572	1,780,037
役員退職慰労引当金	694,982	663,165
資産除去債務	1,279,556	1,286,179
その他	11,933,107	12,812,428
固定負債合計	63,510,654	88,106,867
負債合計	134,225,712	125,387,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,018,656	33,018,656
資本剰余金	30,135,347	30,135,347
利益剰余金	3,968,599	4,806,689
自己株式	△1,305,116	△1,308,396
株主資本合計	65,817,487	66,652,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,652,756	3,825,091
その他の包括利益累計額合計	3,652,756	3,825,091
少数株主持分	46,830	52,542
純資産合計	69,517,074	70,529,931
負債純資産合計	203,742,786	195,917,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	22,159,950	23,725,381
売上原価	12,188,284	13,171,240
売上総利益	9,971,666	10,554,140
販売費及び一般管理費	7,615,915	7,686,405
営業利益	2,355,750	2,867,735
営業外収益		
受取利息	13,303	13,115
受取配当金	107	89
還付消費税等	29,331	47,202
負ののれん償却額	1,141	1,141
持分法による投資利益	5,602	8,958
その他	38,842	34,938
営業外収益合計	88,327	105,446
営業外費用		
支払利息	458,505	350,525
借入手数料	163,574	221,921
その他	27,386	41,929
営業外費用合計	649,465	614,376
経常利益	1,794,612	2,358,804
特別利益		
受取和解金	—	85,907
特別利益合計	—	85,907
特別損失		
固定資産除却損	11,435	3,879
特別損失合計	11,435	3,879
税金等調整前四半期純利益	1,783,176	2,440,831
法人税、住民税及び事業税	261,165	1,111,589
法人税等調整額	381,255	△67,564
法人税等合計	642,420	1,044,025
少数株主損益調整前四半期純利益	1,140,756	1,396,806
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,703	5,711
四半期純利益	1,148,460	1,391,094

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,140,756	1,396,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,321,177	172,507
持分法適用会社に対する持分相当額	1,693	△172
その他の包括利益合計	1,322,871	172,335
四半期包括利益	2,463,627	1,569,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,471,331	1,563,429
少数株主に係る四半期包括利益	△7,703	5,711

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映像関連事業	演劇事業	不動産事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	11,159,998	7,972,473	1,797,659	1,229,818	22,159,950	—	22,159,950
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	25,288	39,256	418,481	1,066,253	1,549,281	△1,549,281	—
計	11,185,287	8,011,730	2,216,140	2,296,072	23,709,231	△1,549,281	22,159,950
セグメント利益	443,044	2,088,238	392,698	102,753	3,026,734	△670,984	2,355,750

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。
2. セグメント利益の調整額△670,984千円には、セグメント間取引消去8,225千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△679,210千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	映像関連事業	演劇事業	不動産事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	13,002,965	6,610,777	2,594,142	1,517,496	23,725,381	—	23,725,381
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	49,675	18,538	421,603	1,167,702	1,657,520	△1,657,520	—
計	13,052,640	6,629,315	3,015,745	2,685,199	25,382,901	△1,657,520	23,725,381
セグメント利益	1,557,929	771,017	1,047,232	208,290	3,584,470	△716,735	2,867,735

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。
2. セグメント利益の調整額△716,735千円には、セグメント間取引消去12,800千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△729,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。